

山間地域の子ども達に学びの場を



ーはじめに、只見町への移住のきっかけを教えてください。

もともと兵庫県の山間地域で塾講師をやっていたのですが、人が集まらなくて閉校することになって. . . その後、神戸の塾で講師をやっていました。

働く中で学びたいという意欲を持った子どもたちが、いろいろな事情や地域的な状況によって十分な学びをできなかったり、学習環境が整わなかったりという現状がある事に気が付いたんです。

そのような状況の子ども達に、自分の体験を生かして学びの機会を提供できないか調べていたところ、世の中には公営塾というものがあり、自治体が学びの機会を提供するという仕組みを作っていることを知りました。全国の公営塾や山間地域での教育をコーディネートしている団体とのオンライン相談を通して話を聞いていく中で、只見町を知りました。

最初に只見町という場所があると情報をもらった時に、只見町のことを検索したところ、どの写真を見ても美しいなと思ったんです。
ああ、こういう場所で生活をしたら心が癒されるだろうな. . . と思い只見町の公営塾に関わる地域おこし協力隊に応募することに決めました。

一すばらしい行動力ですね！地域おこし協力隊時代はどのような活動を？

公営塾の講師という立場で採用されたので、まずは公営塾で勉強を教えるということが一番ではあるんですが...

当時、私が来る3か月ほど前から、公営塾の講師がいない時期があったので、まずは高校に出向き、同じ子供と関わる立場として困っていることや、やりたいけれど手が届かないところなど、先生方から聞きとりを行い、一から仕組みを整えていきました。

そのように、高校とうまく連携できるような信頼関係を築きながら、目の前の生徒に何ができるかを考え、そのうえで山村教育留学生の募集活動にも関わっていました。

そのように向き合っていく中で、只見町の山村留学生には他地域と比べ、地域体験を気軽にできる機会が少ないということに気が付いたんです。

そこで、小中学校のALTの先生との異文化交流会を行ったり、町内の廃校をリノベーションした宿泊型体験施設で勉強合宿を開催し、勉強しながら自然を体験できるイベントなどの開催に力を入れたり、町で活躍している人・強みを持っている人に話を聞く機会を設けたり...そういった活動を通して、塾としての在り方を広げていきました。

一現在は地域おこし協力隊を卒業されたんですね？

そうですね。協力隊で来たのは2020年の11月。2023年の4月から任期付き職員として教育委員会で働いています。仕事内容としては、公営塾や山村留学生の募集、寮生活のサポートだったり、高校生と関わる部分が大きいです。

山村留学制度の情報発信のために、柏市や東京などで説明会を行ったりもしています。寮生活のサポートとしては、週に2.3回寮に出向き、生徒の生活指導や悩み相談、イベントの運営などを行っています。

現在、女子寮の管理を行う職員が不足しているので、興味のある方はぜひ応募してほしいです！（笑）



* 山村留学制度についての詳細はこちらから↓↓

[山村教育留学制度とは？](#) | [只見町公式ホームページ](#) | [福島県 \(tadami.lg.jp\)](#)

一 只見町に残ろうと思った決め手は、お仕事面が大きかったですか？

残ろうと思った決め手は三つあります。

一つ目は、仕事面でまだできることがあるんじゃないかなと。私は雰囲気が柔らかく、生徒にも寄り添える強みがあり、教育委員会や寮、高校とも4年ほどの付き合いがあって、誰もが知っている存在になれていると思います。子供たちに対してまだ私にできることはいろいろあるなと思ったんです。

二つ目は、職場環境です。いろいろな職場があると思うのですが、今いる教育委員会は雰囲気が柔らかく、学校関係者の方達も尊敬できる人が多いので、この人たちともう少し一緒に仕事をして、自分に足りないことを吸収したいなと思いました。



三つ目は、人の良さです。只見の人たちは外から来た人をとても気にかけてくれて、いろいろな場所に連れ出してくれるんです。町のことに興味を示して飛び込んでいけば受け止めてくれます。

只見町は伝統文化が現代に強く根付いた地域です。様々な生きる知恵や生活を豊かにする術も多いので、教えてください！と行くと喜んで教えてくれるし、せっかくこういう場所に来たのでどんどん只見町ならではのことを楽しんだら、貴重な経験をできるだろうと思い、町に残ることを決めました。

一 今までどのようなことに飛び込んでみたんですか？

自然ですかね。只見町には自然について詳しく、上手に説明してくれる人が多いです。あとは、おばあちゃんたちのフリーマーケットに誘っていただいてレトロなものを見せてもらったり、「あめよばれ」という女子会も体験しました。猟友会の方々の活動を見せてもらい、ご飯をご馳走になることもありました。

自分は自然や伝統文化とあまり縁のない生活をしていたので、何事も新鮮だし話を聞くのが本当に楽しいです。

―越智さんが只見町に残ってくださって町のみなさんもととても嬉しいと思います！

お休みの日はどのように過ごしているんですか？

西日本出身で、東北地方にはあまり来ることがなかったので、いろいろなところに遊びに行っています。一番遠くで青森。県内だけでなく東北地方や北陸、関東など各地に車で遊びに行っています。

―青森も車で行かれたんですか！？

行きたい所、目的地あつての移動なので、そうすると車が無いと難しい場所になってしまうんですね。例えば青森だと五所川原の斜陽館という太宰治の記念館や山内丸山遺跡を訪れて歴史や文化に触れたり、十和田湖や奥入瀬溪流で自然を楽しんだり、八戸で海鮮料理を堪能したりしました。

塾講師をやっているので、自分の目で見たり感じたことを自分の言葉で生徒たちに伝えたいという思いがあって。お土産屋さんで文房具や面白いグッズを買って、さりげなく生徒の目につくところに置いてみて、何それ！って興味を持たせたらこっちの勝ちという感じです！



―お休みの日も塾のことを考えていらっしゃってすごいですね！

次に、只見町で暮らしてみても困ったことはありますか？

夏の草刈りですかね。一軒家を借りているのですが、今まで一軒家で一人で暮らすということを深く考えていなかったもので、暮らし始めてから雑草が生えてきて周りの景観を損ねたり道路にはみ出てしまったりと、自分の想定していなかった問題に直面しました。

今は試行錯誤して、安いバッテリー式の草刈り機を購入して挑戦したりもするのですが、すぐに安全カバーの間に詰まっちゃって不便だなと悩んだり...
あとは、車で強引になぎ倒してみたら、危うく沼にはまりかけるという事件もありました（笑）

もう一つ、ガソリンスタンドの営業時間が短いので夜や早朝の移動でガソリンが心もとない時は、どうしようという不安感があります。家に帰れるかしらって（笑）只見はどうしても近隣市町から1, 2時間かかるので。

あと車もですね。私は協力隊で只見町に来る直前に買い替えた車で来てしまって、来た後で四駆じゃないと危ないよって言われてしまったんです。でも買い替えたばかりでどうしようも無いし、何とか普通車で頑張っています。なので、どうにかできるタイミングで移住するなら四駆に買い替えてきたほうが安心だと思います。

一雪で困ったことは無かったですか？

雪に関しては意外と困っていないですね。玄関の前に融雪溝があるので立地に恵まれたなと思います。

あと、町の除雪支援事業を利用していることも大きいと思います。お願いするのにお金がかかるので懐は痛いのですが、全てを自分でどうにかするには限界があるし、積もるたびに苦痛に感じるのはもったいない！頼るところは頼ってと割り切ったら、冬の只見を楽しむことができるようになりました。

除雪してもらった後、家の周りにできた雪の壁を歩くのが楽しいんです！

*只見町では、町に登録した事業者が、定額（収入によって異なる）で軒下除雪を実施しています。高齢者世帯等は、除雪費用の助成制度があります。



一では、只見町に来てよかったことを教えてください！

まず空気がおいしい！

たまに街に出ると建物や人、車の多さで圧迫感を感じるんですが、只見だとのんびりできます。鳥の鳴き声で朝起きる暮らしはやっぱりいいですね。

また、私は自然だけでなく文化も好きなのですが、借りている空き家から以前に住まわれていた方の俳句や写真が出てくることがあります。自分の住んでいた地域には無い歴史や文化を垣間見ることができて楽しいです。

只見の人って物を大切にしているんで、博物館などでお金を払って見なければ見られないものをたくさん見ることができるので面白いです。

最近できた「ただみモノとくらしのミュージアム」では、このように只見の人たちが大切に紡いできた人々の暮らしに根付いた文化を知ることができるので、ぜひ行ってみてください。

一ありがとうございます！

では最後に、移住を考えている方に一言お願いします！

もちろん下準備や下調べは必要だと思いますが、悩むくらいなら来たほうがいいです。最低限の礼節をもって接すれば、只見の方は皆さん困っていたら助けてくれる方ばかりです。

一旦来てみたら新しい発見もあるし新しく身につく自分の知識や技能もあると思います。また、ここでしかできないことをたくさん経験できます。悩んでいる時間があったくない！

不安もあると思いますが、移住体験ツアーなどで話を聞いてみて、自然や風景を見て、いいなって感じたなら来たらいいと思います。人間必要に迫られたら適応していくので大丈夫！なんとかなります！

